

# A-1 電源と灯具のつなぎ方 DC24Vラインコンセントを使って接続する

## アダプタを見せずにスッキリ

ラインコンセントがDC24Vであるため、アダプタでDC24Vに変換する必要がなく、壁面の見栄えが良くなりスッキリします。



### PSEフリーのススメ

スイッチング電源は、ビス止めをせずにフリーな状態にして設置してください。

スイッチング電源を什器にビス止めなどで固定すると、什器は「電気機械付家具」の扱いとなり、PSEに関する技術基準への適合確認などが必要となります。電源とコードを固定せずフリーな状態にすることで、PSEに関する技術基準への適合確認などが不要となります。

一般的な設置

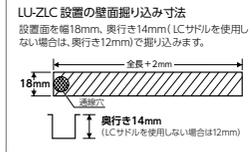


PSEフリーの設置



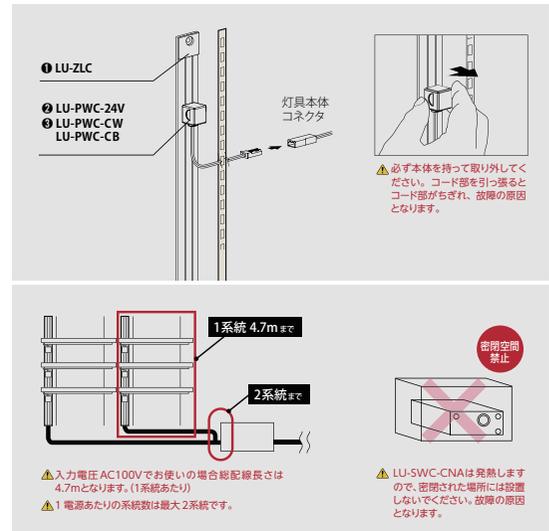
### 取り付けステップ

1 壁面や什器にサポート柱を取り付け、DC24Vラインコンセント(LU-ZLC)を任意の長さで隣接して施工します。DC24Vラインコンセント用電源コード(LU-PWC-24V・LU-PWC-CW・LU-PWC-CB いずれか)を取り付け、灯具本体と接続します。



2 スwitchング電源コネクタセットアース付を使い、DC24VラインコンセントとAC100V電源を接続してください。スイッチング電源は、天井裏や地袋などに設置してください。

● 100Vコンセントがある場合スイッチング電源に付属のコンセントを差し込んでください。  
● 直接結線する場合スイッチング電源に付属のコンセントを取り外して直接結線してください。  
施工には電気工事資格が必要です。  
● アースは必ず取ってください。  
故障や事故の原因になります。



### 必要パーツ一覧



### ご注意

● 接続可能灯具は規定範囲内でのご使用を厳守してください。  
● 規定範囲をオーバーすると火災及び故障の原因になります。  
● より安全にご使用頂けるように、安全アタッチメントパーツを各種取り揃えております。ご相談ください。  
● AC側に直接結線してご使用する際は電気工事資格が必要です。

● コード部を引っ張りますとちぎれる恐れがあります。接続部を外す時は、コード部を引っ張らずに接続コネクタ部を持って外してください。

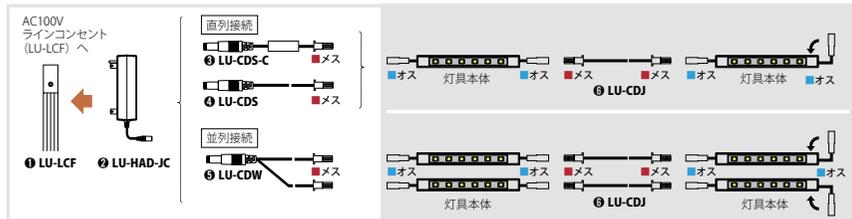


24V 正しく接続してください  
灯具本体への入力電圧はDC24Vです。表示された弊社指定の電源、電圧以外では使用しないでください。間違った電源に接続した場合、灯具本体または電源が破れる恐れがあります。

## A-2 電源と灯具のつなぎ方 AC100Vラインコンセントを使って接続する

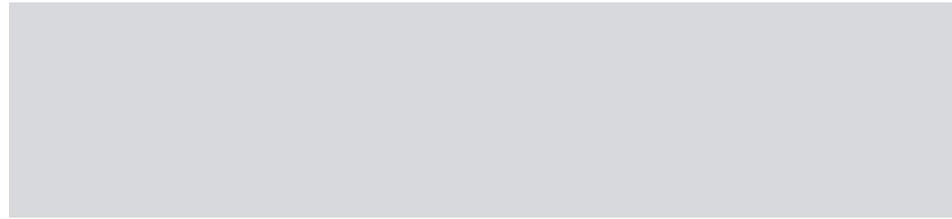
### さまざまなバリエーションの設置に

灯具の点灯にはAC100Vラインコンセント (LU-LCF)、アダプタ (LU-HAD-JC)、シングルコード (LU-CDS-C・LU-CDS)、またはダブルコード (LU-CDW)のみ。オーソドックスで簡単に点灯させるシステムです。



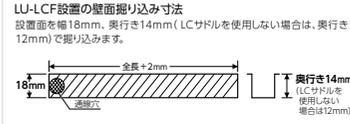
▲使用する各灯具のページで、サイズのワット数を確認し、使用灯数を掛けて総ワット数を求めてください。(ワット数×灯数=総ワット数)  
総ワット数は、電源の許容範囲内で灯具を連結してください。

(LU-HAD-JC) 灯具ワット数×灯数 (+ 灯具ワット数×灯数 + ...) が合計 25.2W 未満



### 取り付けステップ

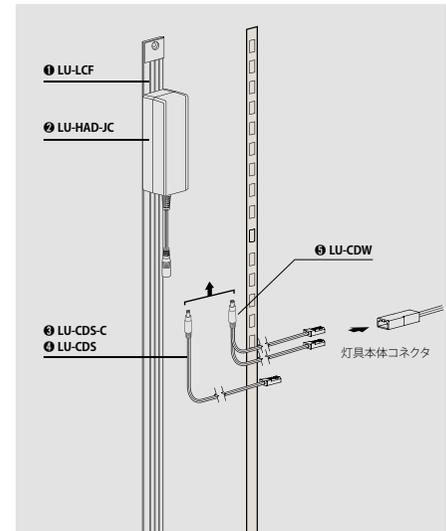
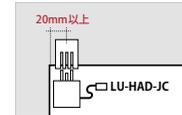
1 壁面にサポート柱を取り付け、AC100V ラインコンセント (LU-LCF) を任意の長さで隣接して施工します。



2 AC100V ラインコンセント用電源アダプタ (LU-HAD-JC) を取り付け、灯具本体と接続します。

ラインコンセントの設置は、入り角や壁面の最端に設置せず、下図のように最端からラインコンセントの中心まで 20mm 以上、アダプタ (LU-HAD-JC) や電源コード分の逃げをみて設置してください。

▲入り角でのラインコンセント設置例



### 必要パーツ一覧



サポート柱・ビス  
ASF-1 など  
サポート柱用安定ビス  
メインカタログ  
1000  
1110 ~ 1200

① LU-LCF  
AC100V ラインコンセント

② LU-HAD-JC  
AC100V ラインコンセント用  
アダプタ (高圧・コードフリー)

③ LU-CDS-C  
ケース付シングルコード

④ LU-CDS  
シングルコード

⑤ LU-CDW  
ダブルコード

⑥ LU-CDJ  
ジョイントコード  
(電圧接続用)

### ご注意

● 連結可能灯数は規定範囲内でのご使用を厳守してください。  
● 規定範囲をオーバーすると火災及び故障の原因になります。  
● より安全にご使用頂けるように、安全アタッチメントパーツを各種取り揃えております。ご相談ください。

● コード部を引っ張りますとちぎれる恐れがあります。接続部を外す際は、コード部を引っ張らずに接続コネクタ部を持って外してください。



### 資

● 専門業者にご依頼ください  
● 取組については、有資格者による施工が義務付けられていますので、必ず専門業者にご依頼ください。

### 24V

● 正しく接続してください  
● 灯具本体への入力電圧はDC24Vです。表示された書指定の電圧・電圧以外では使用しないでください。間違った電源に接続した場合、灯具本体または電源が壊れる恐れがあります。

### スリムアダプタでスッキリ

ブラケット横にアダプタを取り付ける事ができるので、AC100Vラインコンセントに使用した時でも壁面の見た目がすっきりします。

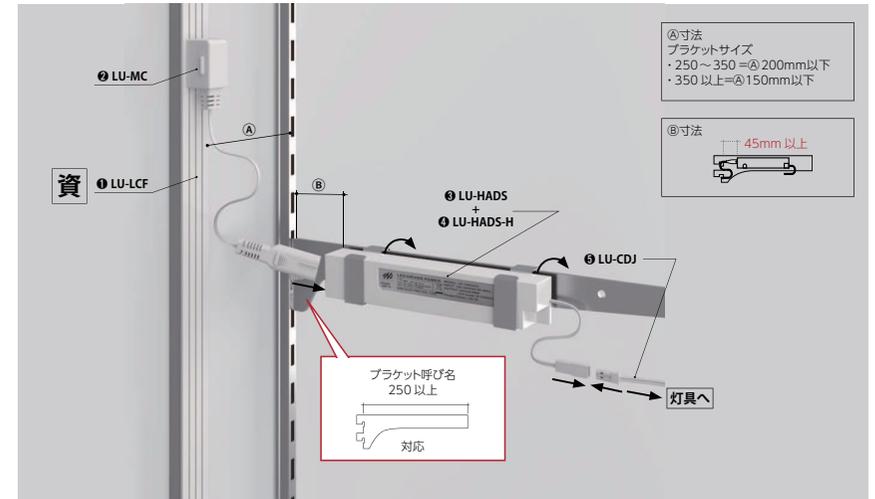
※AC100Vラインコンセント(LU-LCF)が必要です。



### 1. ガラス棚ブラケット設置時



### 取り付けステップ



LU-LCFとサポート柱を施工し、LU-MCとLU-HADS (LU-HADS-Hを取り付けた状態)をつなぎ、ブラケットに取り付けます。

### 必要パーツ一覧



<b>サポート柱・ビス</b> AS-10 など 規定範囲をオーバーすると火災及び故障の原因になります。 サイボート社認定ビス メインカテゴリー 1000 1010 ~ 1200	<b>ブラケット</b> R4 20GHSなど ガラス棚ブラケット	<b>① LU-LCF</b> AC100Vラインコンセント	<b>② LU-MC</b> 3PINメガネ型コード	<b>③ LU-HADS</b> AC100Vラインコンセント用 スリムアダプタ(電線タイプ)	<b>④ LU-HADS-H</b> スリムアダプタ用 ホルダー	<b>⑤ LU-CDJ</b> ジョイントコード (電線接続用)
---	---	-----------------------------------	-------------------------------	---	--	--

### ご注意

- 連結可能灯数は規定範囲内でのご利用を厳守してください。
- 規定範囲をオーバーすると火災及び故障の原因になります。
- より安全にご利用頂けるように、安全アタッチメントパーツを各種取り揃えております。ご相談ください。
- コード部を引っ張りますとちぎれる恐れがあります。接続部を外す時は、コード部を引っ張らずに接続コネクタ部を持って外してください。
- コネクタ部を持って外してください。

### 資 専門業者にご依頼ください

配線については、有資格者による施工が義務付けられていますので、必ず専門業者にご依頼ください。

### 24V 正しく接続してください

灯具本体への入力電圧はDC24Vです。表示された弊社指定の電圧、電圧以外では使用しないでください。間違った電源に接続した場合、灯具本体または電源が壊れる恐れがあります。

スリムアダプタでスッキリ

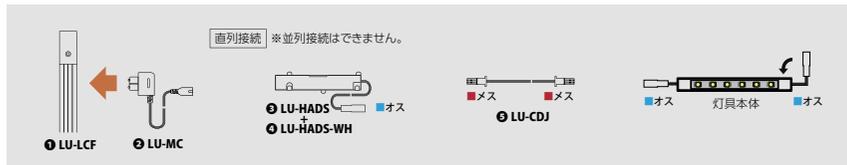
木棚にアダプタ本体を直接取り付けることができるので、AC100Vラインコンセントに使用した時でも壁面の見た目がすっきりします。

※AC100Vラインコンセント(LU-LCF)が必要です。



2. 木棚設置時

2. 木棚設置時

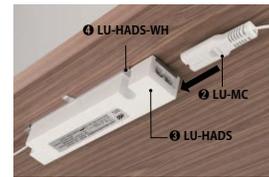


(LU-HADS) 灯具ワット数が合計 10.5W 未満 ※並列不可

取り付けステップ ▲アダプタは木棚に直付けせずホルダーを必ずお使いの上、木棚に取り付けてください

スリムアダプタ木棚用ホルダー (LU-HADS-WH) を木棚にビス固定してから、スリムアダプタ (LU-HADS) を取り付けます。 ※掘り込み設置の場合は放熱性を考慮し、下記の注意を厳守してください。

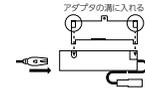
■直付け設置



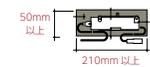
1 付属のビスで木棚の裏面にスリムアダプタ木棚用ホルダー (LU-HADS-WH) を取り付けます。



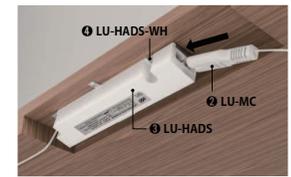
2 スリムアダプタ (LU-HADS) の溝にツメを押し込んでからスリムアダプタを取り付け、メガネ型コード (LU-MC) を押し込みます。



■取り付け有効寸法



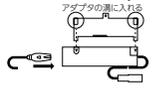
■掘り込み設置



1 付属のビスで木棚にスリムアダプタ木棚用ホルダー (LU-HADS-WH) を取り付けます。

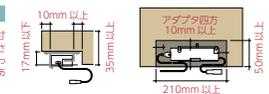


2 スリムアダプタ (LU-HADS) の溝にツメを押し込んでから取り付けます。



■掘り込み設置時注意

▲放熱性を考慮して、右記の寸法を守って掘り込んでください。アダプタが外せなくなったり、火災に至る危険があります。



必要パーツ一覧



サポート柱・ビス AS-10 など 4.0x2W/0.53W など AC100Vラインコンセント 3PINメガネ型コード AC100Vラインコンセント用 スリムアダプタ木棚用ホルダー (掘り込み設置用)

プラケット 水棚用アダプタ

① LU-LCF AC100Vラインコンセント

② LU-MC 3PINメガネ型コード

③ LU-HADS AC100Vラインコンセント用 スリムアダプタ

④ LU-HADS-WH スリムアダプタ木棚用ホルダー

⑤ LU-CDJ フォトリフレクトコード (掘り込み設置用)

ご注意

●連結可能灯数は規定範囲内でのご使用を厳守してください。規定範囲をオーバーすると火災及び故障の原因になります。より安全にご使用頂けるように、安全アタッチメントパーツを各種取り揃えております。ご相談ください。

●コード部を引っ張りますとちぎれる恐れがあります。接続部を外す時は、コード部を引っ張らずに接続コネクタ部を持って外してください。



24V

正しく接続してください  
灯具本体への入力電圧はDC24Vです。表示された弊社指定の電圧、電圧以外では使用しないでください。間違った電圧に接続した場合は、灯具本体または電線が破れる恐れがあります。

# A-4 電源と灯具のつなぎ方 AC100Vコンセント用アダプタを使って接続する

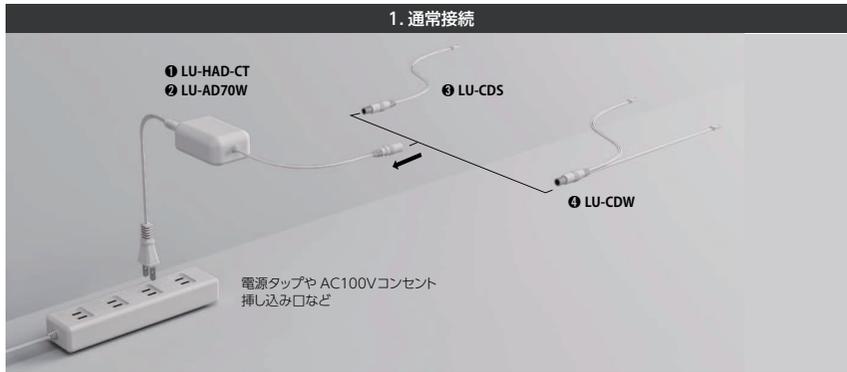
## 最もシンプルな接続

使用するのはAC100Vコンセントに挿せるAC100Vアダプタ (LU-HAD-CT・LU-AD70W)、シングルコード・ダブルコード (LU-CDS・LU-CDW) のみ。簡単に点灯させるシステムです。



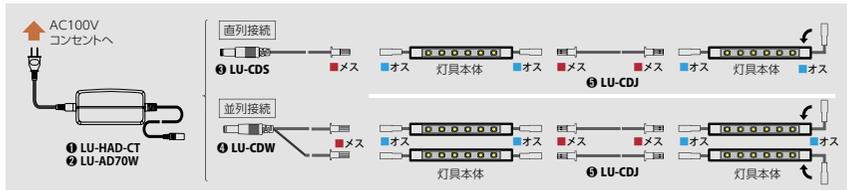
1. 通常接続 2. 木板などに設置 (本体を固定)

### 1. 通常接続



電源タップや AC100Vコンセント挿し込み口など

### 2. 木板などに設置 (本体を固定)



⚠ 使用する各灯具のページで、サイズのワット数を確認し、使用灯数を掛けて総ワット数を求めてください。(ワット数×灯数=総ワット数)  
総ワット数は、電源の許容範囲内で灯具を連結してください。

(LU-HAD-CT) 灯具ワット数×灯数 (+ 灯具ワット数×灯数 + ...) が **合計 25.2W 未満**  
(LU-AD70W) 灯具ワット数×灯数 (+ 灯具ワット数×灯数 + ...) が **合計 49W 未満**

## 取り付けステップ

### 1. 通常接続

- 電源タップやAC100Vコンセント挿し込み口などに、電源アダプタ (LU-HAD-CT・LU-AD70W) を挿し込みます。
- 灯具と接続した電源コード (LU-CDS・LU-CDW) を電源アダプタ (LU-HAD-CT・LU-AD70W) に接続します。

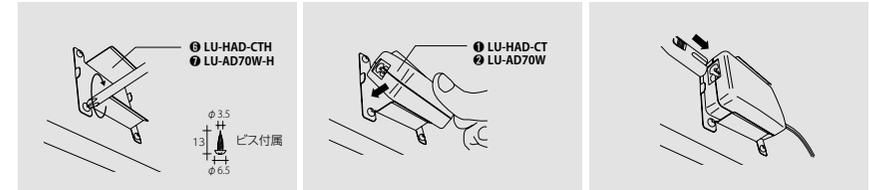
⚠ アダプタ自体 (LU-HAD-CT・LU-AD70W) の発熱により、隣り合わせで使用したり、密閉された狭い空間で使用すると、熱により内部部品の故障の原因となる可能性があります。そのため下図のような条件では使用しないようにしてください。



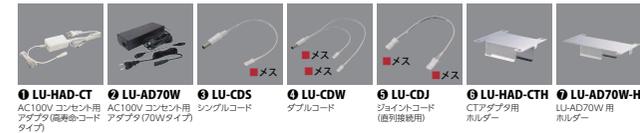
空気の通りを確保する

### 2. 木棚などに設置 (本体をホルダーで固定)

- LU-100V コードタイプ用ホルダー (LU-HAD-CTHまたはLU-AD70W-H) を木板などにビス止めします。
- AC100V コンセント用アダプタ (LU-HAD-CTまたはLU-AD70W) を下図のように斜めに入れて取り付けます。
- 付属の電源コードをアダプタに挿し込みます。



## 必要パーツ一覧



### ご注意

- 連結可能灯数は規定範囲内での使用を厳守してください。規定範囲をオーバーすると火災及び故障の原因になります。
- コード部を引っ張りますとちぎれる恐れがあります。接続部を外す時は、コード部を引っ張らずに接続コネクタ部を持って外してください。

24V 正しく接続してください  
灯具本体への入力電圧はDC24Vです。表示された弊社指定の電圧、電圧以外では使用しないでください。間違った電圧に接続した場合は、灯具本体または電圧が壊れる恐れがあります。

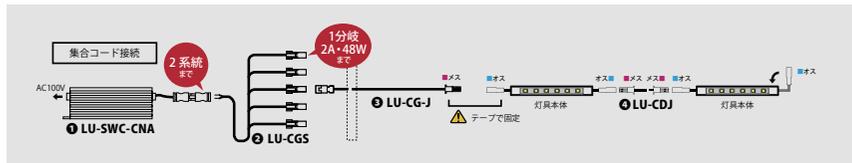
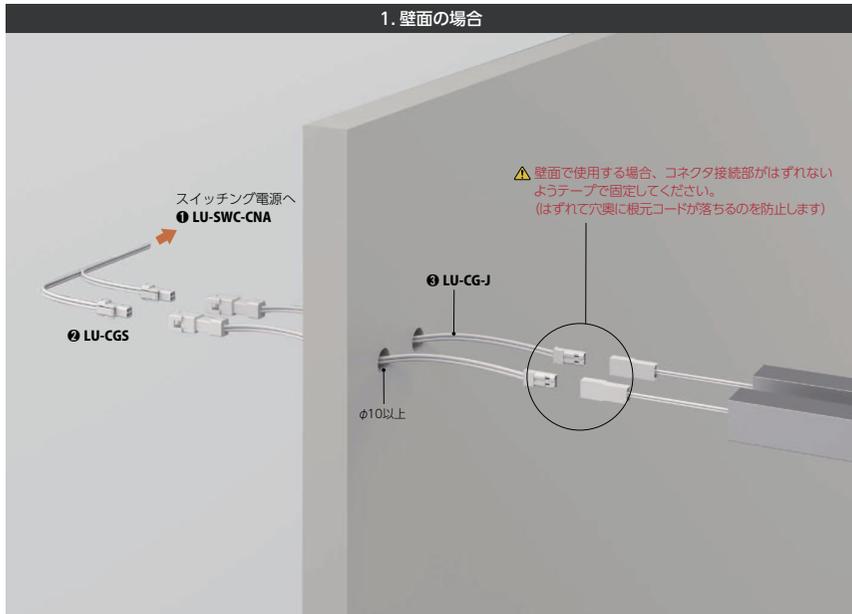
# A-5 電源と灯具のつなぎ方 スイッチング電源に直接接続する(壁面の場合)

1つの電源でたくさん灯具を接続したい場合など

ラインコンセントやアダプタを使わずに灯具を接続したい場合に便利です。  
また集合コードを使えば複数の灯具をより簡単に接続する事が可能です。



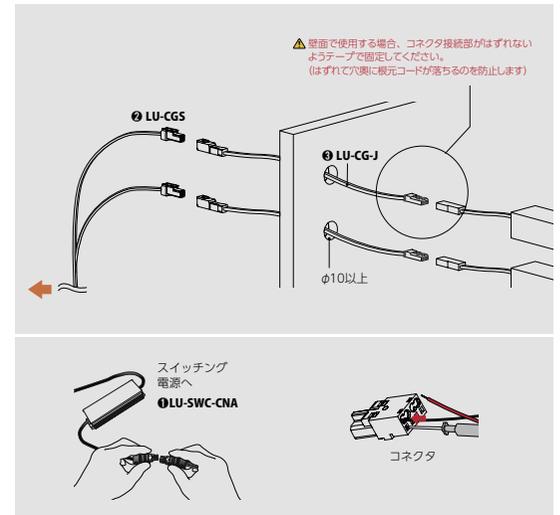
## 1. 壁面の場合



- △使用する各灯具のページで、サイズのワット数を確認し、使用灯数を掛けて総ワット数を求めてください。(ワット数×灯数=総ワット数)総ワット数は、電源の許容範囲内で灯具を連結してください。(最大出力電力の70%)
- △アースは必ず取ってください。故障や事故の原因になります。

## 取り付けステップ

- 1 放熱を考慮した任意の場所にスイッチング電源コネクタセットアース付(LU-SWC-CNA)を設置し、集合コード(LU-CGS)を結線します。  
△コンセントが使えない場合等、AC側に直接結線してご使用の場合は電気工事資格が必要です。
- 2 集合コード用ジョイントコード(LU-CG-J)と集合コード(LU-CGS)のコネクタをつなぎ、壁面ボードなどの穴に通します。  
△穴を開ける場合、コネクタを通すため必ずφ10以上の穴を開けてください。



## 必要パーツ一覧



- ① LU-SWC-CNA スwitchング電源コネクタセットアース付
- ② LU-CGS 集合コード
- ③ LU-CG-J 集合コード用ジョイントコード
- ④ LU-CDJ ジョイントコード(個別接続用)
- ⑤ LU-SWC-HC スwitchング電源放熱用カバー

### ご注意

- 連結可能灯数は規定範囲内でのご使用を厳守してください。規定範囲をオーバーすると火災及び故障の原因になります。
- より安全にご使用頂けるように、安全アタッチメントパーツを各種取り揃えております。ご相談ください。
- コンセントが使えない場合等、AC側に直接結線してご使用の場合は電気工事資格が必要です。

●コード部を引っ張りますとちぎれる恐れがあります。接続部を外す時は、コード部を引っ張らずに接続コネクタ部を持って外してください。



### 24V

正しく接続してください  
灯具本体への入力電圧はDC24Vです。表示された弊社指定の電源、電圧以外では使用しないでください。間違った電源に接続した場合、灯具本体または電源が壊れる恐れがあります。

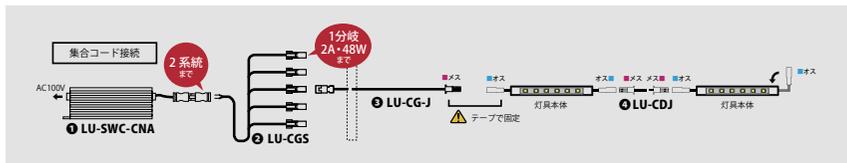
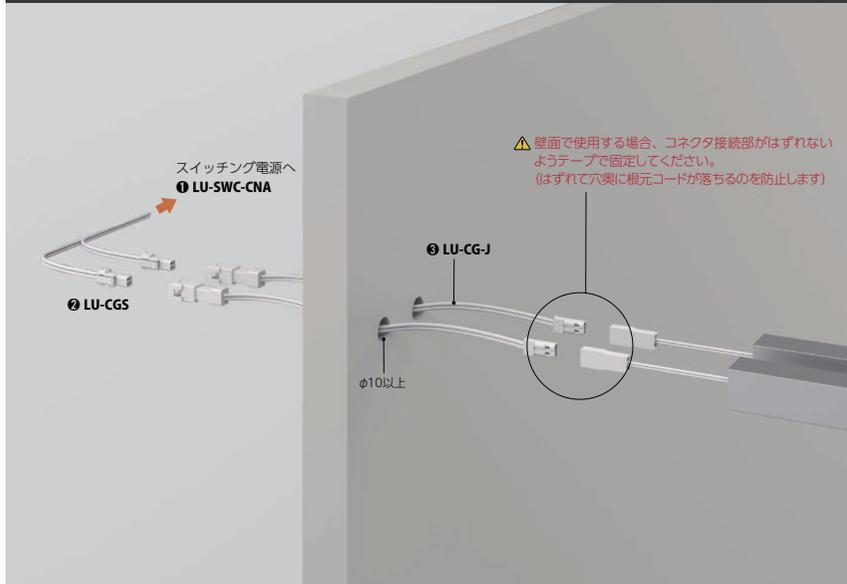
## A-5 電源と灯具のつなぎ方 スイッチング電源に直接接続する(什器の場合)

### 1つの電源でたくさん灯具を接続したい場合など

ラインコンセントやアダプタを使わずに灯具を接続したい場合に便利です。また集合コードを使えば複数の灯具をより簡単に接続する事が可能です。



### 2. 什器の場合 (フリーとなる展開)



- ▲使用する各灯具のページで、サイズのワット数を確認し、使用灯数を掛けて総ワット数を求めてください。(ワット数×灯数=総ワット数) 総ワット数は、電源の許容範囲内で灯具を連結してください。(最大出力電力の70%)
- ▲アースは必ず取ってください。故障や事故の原因になります。

### PSEフリーのススメ

スイッチング電源は、ビス止めをせずにフリーな状態にして設置してください。

スイッチング電源を什器にビス止めなどで固定すると、什器は「電気機械付家具」の扱いとなり、PSEに関する技術基準への適合確認などが必要となります。電源とコードを固定せずフリーな状態にすることで、PSEに関する技術基準への適合確認などが不要となります。

### 一般的な設置

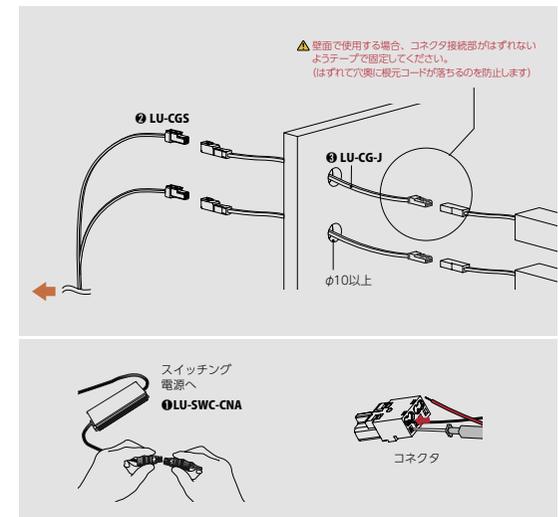


### PSEフリーの設置



### 取り付けステップ

- 1 放熱を考慮した任意の場所にスイッチング電源コネクタセットアース付 (LU-SWC-CNA) を設置し、集合コード (LU-CGS) を結線します。  
▲コンセントが使えない場合等、AC側に直接結線してご使用の場合は電気工事資格が必要です。
- 2 集合コード用ジョイントコード (LU-CG-J) と集合コード (LU-CGS) のコネクタをつなぎ、什器や背板などの穴に通します。  
▲穴を開ける場合、コネクタを通すため必ずφ10以上の穴を開けてください。



### 必要パーツ一覧



### ご注意

- 連結可能灯具は規定範囲内でのご使用を厳守してください。
- 規定範囲をオーバーすると火災及び故障の原因になります。
- より安全にご使用頂けるように、安全アタッチメントパーツを各種取り揃えております。ご購入ください。
- コンセントが使えない場合等、AC側に直接結線してご使用の場合は電気工事資格が必要です。

- コード部を引っ張りますとちぎれる恐れがあります。接続部を外す時は、コード部を引っ張らずに接続コネクタ部を持って外してください。



### 24V

正しく接続してください  
灯具本体の入力電圧はDC24Vです。表示された弊社指定の電圧、電圧以外では使用しないでください。間違った電源に接続した場合、灯具本体または電源が壊れる恐れがあります。

寸法など、商品の詳細情報(仕様書)をダウンロードすることができます。 [https://www.royal-co.net/luper/dl\\_instructions/](https://www.royal-co.net/luper/dl_instructions/)

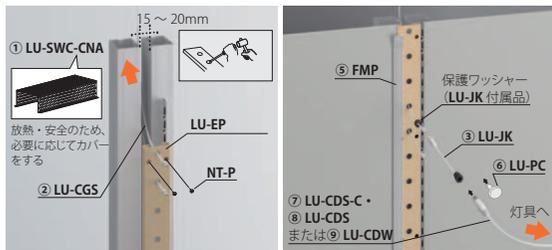
# A-6 各電源の接続方法 イージーパネルを使って接続する(当社オリジナル)

## 50mmピッチで穴開けが可能。多彩なディスプレイに。

差し込めば点灯する「ジャック式」というシンプルなシステム。小さく目立ちません。スイッチング電源を壁内に収めることで、すっきりとした仕上げが可能になりました。ジャックは50mmピッチで取り付け位置を設定する事ができるので、コードの長さを調整すると棚の上下移動が自由に変わります。

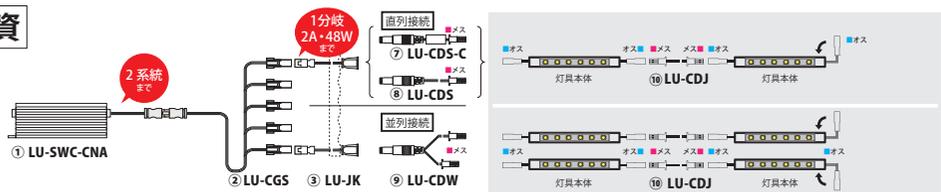


**1** 隙間の間隔 15 ~ 20mm でスタッドを 2 本立てます。その間を通して集合コード (LU-CGS) をおろします。パネルをビス止めし、LU-CGS のコネクタをパネル穴に通してください。



**2** イージーパネル (LU-EP) の穴開けした部分に、仕上げ保護ワッシャーを取り付けて養生してください。ファイバーメッシュ (FMP) など貼り、パテ処理してください。仕上げた壁面から保護ワッシャーを取り除き、LU-CGS に LU-JK をつなぎ穴に装着してください。使用しないジャックにはパネルキャップ (LU-PC) を装着してください。

### 資



▲ 使用する各灯具のページで、サイズのワット数を確認し、使用灯数を掛けて総ワット数を求めてください。(ワット数 × 灯数 = 総ワット数)  
総ワット数は、電源の許容範囲内で灯具を連結してください。(最大出力電力の 70%)

### ●必要パーツ一覧



**ご注意ください!**

▲ コード部を引っ張りますとちぎれる恐れがあります。接続部を外す時は、コード部を引っ張らずに接続コネクタ部を持って外してください。

**施工上** ▶ **資** 専門業者にご依頼ください  
 配線については、有資格者による施工が義務付けられていますので、必ず専門業者にご依頼ください。

**24V** 正しく接続してください  
 灯具本体への入力電圧はDC24Vです。表示された当社指定の電源、電圧以外では使用しないでください。間違った電源に接続した場合、灯具本体または電源が壊れる恐れがあります。

**注意**  
 連結可能灯数は規定範囲内でのご使用を厳守してください。規定範囲をオーバーすると火災及び故障の原因になります。  
 より安全にご使用頂けるように、安全アタッチメントパーツを各種取り揃えております。ご相談ください。

**注意**  
 ● 使用しないジャックには必ずそれぞれ専用のキャップを取り付けてください。ゴミなどが入り、ショートする可能性があります。  
 ● 電気使用量は規定範囲内でご使用ください。規定範囲をオーバーすると火災及び故障の原因になります。

パネル LU-PC

# A-7 各電源の接続方法 ジャックレールを使って接続する(当社オリジナル)

## サポートのすぐ横に設置可能。目立ちません。

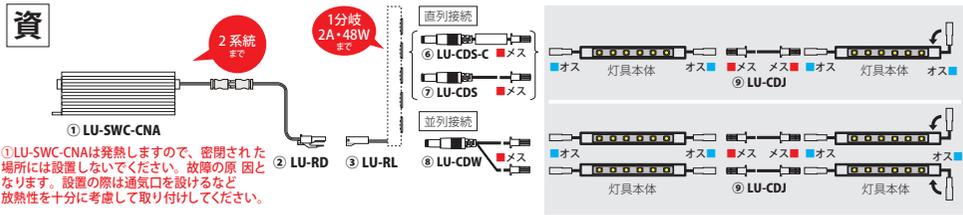
壁面に14mm幅のジャックレールをはめ込むだけなので、施工に手間がかかりません。また、コの字型なのでチャンネルサポート横に取り付ける事が可能です。ジャックピッチは50mmきざみで250mm~450mmまでの5種類を用意。



**1** 天井裏などからジャック用コード (LU-RD) をおろし、スタッドの横と正面にφ20程度の穴を開けます。穴部分を選んで、サポートを取り付けてください。レールホルダー (LU-RH) をスタッドにビス止めします。(ジャック毎に1個使用) ルーベルジャックレール (LU-RL) とジャック用コード (LU-RD) の配線をつなぎ、LU-RLを取り付け、スタッドにビス止めします。

**2** パネルを仕上げ、使わないジャックにはレールキャップ (LU-RC) を取り付け、カバーしてください。

ダブルサポートなど、1本のスタッドでは施工が難しい場合は、サポートとジャックレールそれぞれにスタッドをご準備ください。



使用する各灯具のページで、サイズのワット数を確認し、使用灯数を掛けて総ワット数を求めてください。(ワット数×灯数=総ワット数) 総ワット数は、電源の許容範囲内で灯具を連結してください。(最大出力電力の70%)

## ●必要パーツ一覧



**ご注意ください!**

コード部を引っ張りますとちぎれる恐れがあります。接続部を外す時は、コード部を引っ張らずに接続コネクタ部を持って外してください。

**設計・施工・発注・取扱上の留意点**

**施工上** 専門業者にご依頼ください

**資** 24V 正しく接続してください

注意 連結可能灯数は規定範囲内でのご使用を厳守してください。規定範囲をオーバーすると火災及び故障の原因になります。より安全にご使用頂けるように、安全アタッチメントパーツを各種取り揃えております。ご相談ください。

注意 □ 使用しないジャックには必ずそれぞれ専用のキャップを取り付けてください。ゴミなどが入り、ショートする可能性があります。 □ 電気使用量は規定範囲内でご使用ください。規定範囲をオーバーすると火災及び故障の原因になります。

ジャックレール LU-RC

# A-8 各電源の接続方法 ハネ付ジャックレールを使って接続する(当社オリジナル)

## 養生やコーキングは不要。

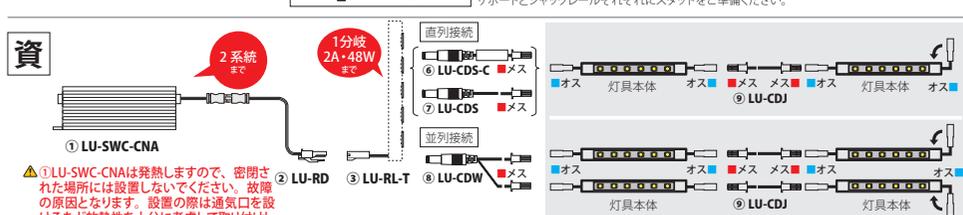
壁面に14mm幅のハネ付ジャックレールをはめ込むだけなので、施工に手間がかかりません。また、ハネ付なので、ボードのコバの仕上げが簡単です。ジャックピッチは50mmきざみで250mm~450mmまでの5種類を用意。



**1** サポート柱を取り付けたところから、約100mm程度離れたピッチでジャックレール用にスタッドを立て、天井裏などからジャック用コード (LU-RD) をおろしてください。スタッドの横と正面にφ20程度の穴を開けてください。ルーベルハネ付ジャックレール (LU-RL-T) が取まるサイズの溝を残して壁面を仕上げてください(14.5mm幅)。レールホルダー (LU-RH) をスタッドにビス止めします(ジャック毎に1個使用)。LU-RL-Tとジャック用コード (LU-RD) の配線をつなぎ、LU-RL-TをLU-RHに取り付け、スタッドにビス止めします。

**2** パネルを仕上げ、サポート同様、必要に応じてコーキングなどの目地処理をします。使わないジャックにはLU-RCを取り付け、カバーしてください。

ダブルサポートなど、1本のスタッドでは施工が難しい場合は、サポートとジャックレールそれぞれにスタッドをご準備ください。



使用する各灯具のページで、サイズのワット数を確認し、使用灯数を掛けて総ワット数を求めてください。(ワット数×灯数=総ワット数) 総ワット数は、電源の許容範囲内で灯具を連結してください。(最大出力電力の70%)

## ●必要パーツ一覧



**ご注意ください!**

コード部を引っ張りますとちぎれる恐れがあります。接続部を外す時は、コード部を引っ張らずに接続コネクタ部を持って外してください。

**設計・施工・発注・取扱上の留意点**

**施工上** 専門業者にご依頼ください

**資** 24V 正しく接続してください

注意 連結可能灯数は規定範囲内でのご使用を厳守してください。規定範囲をオーバーすると火災及び故障の原因になります。より安全にご使用頂けるように、安全アタッチメントパーツを各種取り揃えております。ご相談ください。

注意 □ 使用しないジャックには必ずそれぞれ専用のキャップを取り付けてください。ゴミなどが入り、ショートする可能性があります。 □ 電気使用量は規定範囲内でご使用ください。規定範囲をオーバーすると火災及び故障の原因になります。

ジャックレール LU-RC

## ⚠️ 取り扱い注意事項 よくお読みになり、正しくお使いください



- 施工は電気用品安全法および電気設備技術基準にしたがって行ってください。
- スwitching電源には有効ワット数が設定されています。範囲内でご使用ください。
- スwitching電源の接続ケーブルには入力 (AC) と出力 (DC) があり、誤った接続をすると火災・故障の原因となります。付属の取扱説明書を必ずお読みいただき、正しく接続してください。
- スwitching電源は発熱しますので、密閉された場所には設置しないでください。故障の原因となります。設置の際は通気口を設けるなど放熱性を十分に考慮して取り付けしてください。
- 使用環境や使用条件を守り、適正なご使用をお願い致します。誤ってご使用されますと、故障や事故の原因となります。
- 木製品や樹脂製品への取り付け時は、事前に発熱状況をご確認ください。
- 発熱しますので燃えやすいもので覆ったりしないでください。
- 異常が認められた場合には、直ちにご使用を中止してください。損傷を受けたり故障したまま使い続けると、重大な事故の原因となります。
- 振動・衝撃・粉塵・腐食性ガスの影響を受ける場所ではご使用できません。
- 若干のノイズが発生しております。通常の環境では問題ありませんが、医療機器などノイズに敏感な機器が設置された環境ではご使用にならないでください。
- 放熱・安全のため、環境や必要に応じてスイッチング電源放熱用カバー (LU-SWC-HC) をご使用ください。
- 旧省令第1項・第2項について、当社製品のアダプタ及びスイッチング電源は特定電気用品に該当し、LED電灯器具を使用するにあたって必ず定められている電気用品安全法、旧省令第1項 別表第八及び別表第十の電気用品名「直流電源装置」、また旧省令第2項も別表第十二国際規格等に準拠した基準「直流又は交流電源用 LEDモジュール用制御装置の個別要求事項」に準じております。
- アースは必ず取ってください。故障や事故の原因となります。



- バッテリー本体・充電器共通注意事項
  - 充電器は、室内使用のみに限ります。
  - 自分で分解して修理したり、改造しようとしたりしないでください。
  - 水まわりなど、水源に近づけたり濡らしたりしないでください。発火または感電の恐れがあります。
  - 煙や焦げる臭い等の異常があった場合、直ちに電源コードを抜いてください。
  - 落下等の衝撃を与えないでください。
  - 衝突などの原因により、充電器が破損され内部の部品が露出された場合、手で触らないでください。感電して怪我する恐れがあります。
- バッテリー本体
  - DC23V～29V (ルーペルはDC24V) 仕様製品のみにご使用ください。
  - コネクタ端子を短絡(ショート)させないでください。  
万一短絡をさせた場合は速やかに短絡箇所を外してください。
  - 改造したり分解をしないでください。発火や発煙の原因となります。
  - 火中に投入したり、加熱しないでください。
  - 非防水仕様です。水や海水などにつけたり、濡らさないでください。また、濡れた手で触らないでください。
  - 充電は同梱の充電器をご使用ください。
  - 高温となる場所に放置しないでください。
  - 充電方法については、同梱の充電器取扱説明書を合わせてよくお読みください。
  - 充電する際は灯具不点灯の状態で行なってください。
  - 放電は規定電流値内で行なってください。
  - 電池リサイクル法により、勝手に処分はできません。
  - 過放電 (21V) 以下は避けてください。
  - 使用後は必ず充電を行なってください。
  - 長期間使用しない場合は満充電にしてから保管してください。
  - 過放電になると電池の電解液が溶出して発熱、発煙、発火を招く場合があります。  
過放電を避ける為、約3ヶ月に1度満充電にしてください。(空容量での長期保存は避けてください)
  - 下電圧遮断まで使用すると、充電時間が延び、また電池寿命も短くなります。できる限り途中充電をお勧めします。
  - 電池容量は300回充放電で2/3程度になります。
- 充電器
  - 可燃性ガスが存在する環境の中で使用しないでください。爆発、または火災の恐れがあります。
  - 使用時、バッテリーケースのプラグを差し込んでから、AC電源のプラグを差し込んでください。
  - 充電中、電源充電指示灯の赤色ランプが点灯し、フル充電後は緑色ランプに変わり充電の完了をお知らせします。  
充電完了後(充電器の緑色指示灯が点灯) 充電を止めるには、AC電源プラグを抜いてからバッテリーケースのプラグを抜いてください。
  - 本充電バッテリー以外のバッテリーへの充電は厳禁です。



# 取り扱い注意事項

よくお読みになり、正しくお使いください

■ AC100Vラインコンセント及びスイッチング電源 (LU-SWC) の設置については有資格者による施工が義務付けられていますので、専門業者にご依頼ください。一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

■ スwitchング電源 (LU-SWC) 及びスイッチング電源コネクタセットアース付 (LU-SWC-CNA) の接続ケーブルには入力 (AC) と出力 (DC) があり、誤った接続をすると**火災・故障**の原因となります。付属の取扱説明書を必ずお読みいただき、正しく接続してください。また、スイッチング電源は発熱しますので、密閉された場所には設置しないでください。設置の際は通気口や十分なスペースを設けるなど放熱性を十分に考慮して取り付けてください。**故障**の原因となります。

■ 使用環境や使用条件を守り、適正なご使用をお願い致します。誤ってご使用されますと、**故障や事故及び火災等**の原因になります。また、半年に一回程度、電源を切った状態で点検及び清掃を行なってください。

■ 照明器具への入力電圧はDC24Vです。当社指定の各種電源以外は使用しないでください。間違った電源を接続すると、灯具が壊れる可能性があります。

■ 粉塵やホコリの多い場所でのご使用は避けてください。蓄積された粉塵やホコリで熱が逃げず、LEDの寿命が著しく低下すると同時に**破損・故障**する可能性があります。

■ 密閉された箱の中でのご使用、木製品や樹脂製品への取り付け時は、事前に発熱状況をご確認ください。発熱量が多いとLEDの寿命が著しく低下する可能性があります。放熱し、空気が循環するようにご配慮ください。

■ 灯具本体及びアダプタは発熱しますので、アダプタは取り付け間隔を空け、密閉された空間で使用しないでください。また、あらかじめ陳列商品などへの熱の影響をご確認の上、ご使用ください。

■ 灯具本体に異常が認められた場合には、直ちにご使用を中止してください。**損傷**を受けたり、**故障**した灯具本体を使い続けると、重大な事故の原因になります。

■ 電源への接続は指定されたコネクタでお願い致します。指定以外のコネクタを使用すると、**破損・故障**する可能性があります。

■ DC24V用の電源コード (LU-PWC-24V) をご使用の際には、必ず2ピン用のDC24Vラインコンセント (LU-ZLC) をご使用ください。間違って3ピン用のAC100Vラインコンセント (LU-LCF など) にご使用になりますと灯具本体の破損はもちろん、**重大な事故や火災**などの原因になりますので絶対にお避けください。

■ アダプタ及びコネクタは確実に接続してください。間違った接続をしたり、接続状態が不完全な場合、**接続不良によりショート**する可能性があります。

■ コネクタの抜き差しは、必ずコネクタ本体を握って行ってください。コード部を引っ張ると、**破損・故障**する可能性があります。

■ 濡れた手でアダプタやコネクタを抜き差ししないでください。**感電**する恐れがあります。

■ 灯具本体の改造や加工はしないでください。**故障**の原因になります。

■ カバーをはずし、直接 LED に手を触れないようお願い致します。LEDが静電破壊を起こし不点灯になったり汚れが付着して照度が落ち、**破損・故障**する可能性があります。

■ LEDの光を直視しないでください。直視すると一時的にLEDの光が残像として見える可能性があります。直視してしまった場合は、LEDの光から視線をそらし、通常的环境下で目を慣らすようお願い致します。

■ 本製品はすべて屋内専用 (非防水仕様) です。屋外や水・湿気の多い場所や結露の発生する状況下でのご使用はできません。

■ 振動・衝撃・粉塵・腐食性ガスの影響を受ける場所では使用できません。

■ LEDの発光色には個体差があり、若干の色ムラが出る事がありますのでご了承ください。選別されたLEDを使用しておりますが、発光色にはバラツキがあります。

■ 灯具本体にハンガーを掛けしないでください。**破損にともなう漏電**の恐れがあります。

■ 灯具本体及び電源アダプタからは若干のノイズが発生しております。通常の環境では問題ありませんが医療機器などノイズに敏感な機器が設置された環境ではご使用にならないでください。

■ 灯具の取り付けまたは配線の際、金属部分より静電破壊が起こる可能性がある為、静電気対策をお願いします。

■ LEDは紫外線をほとんど含まないため褪色しないものと思われがちですが、可視光により被照射物の一部の染料に褪色や変色が発生することがあります。

■ 充電式バッテリーの充電は当社指定の充電器 (同梱品) をご使用ください。

■ 充電式バッテリーは電池リサイクル法により勝手に処分できません。

■ 充電式バッテリーを長時間使用しない場合でも過放電を避けるため、約3ヶ月間に一度満充電させてください。(過放電になると電解液が溶出し、**発熱・発火**の恐れがあります)

■ 充電式バッテリーは、点灯などの使用中に充電すること、または充電中に点灯などの使用をすると劣化しますのでお避けください。

■ 旧省令第1項・第2項について、当社製品のアダプタ及びスイッチング電源は特定電気用品に該当し、LED電灯器具を使用するにあたって必ず定められている電気用品安全法、旧省令第1項 別表第八及び別表第十の電気用品名「直流電源装置」、また旧省令第2項も別表第十二国際規格等に準拠した基準「直流又は交流電源用LEDモジュール用制御装置の個別要求事項」に準じております。

■ 万一、煙がでたり、変な臭いがあるなどの異常状態が発生した場合はすぐに電源を切ってください。そのまま使用すると、**感電、火災**の原因となります。また、異常状態がおさまったことを確認してから工事店、電器店に修理を依頼してください。

■ 紙や布や断熱材などでおおったり、燃えやすいものに近づけないでください。**故障、火災**の原因となります。

■ 床、什器等の清掃の際は、LEDランプに水や薬品がかからないように注意してください。**故障、感電、火災**の原因となりますことがあります。

■ 引火する危険性の雰囲気 (ガンソリン、可燃性スプレー、シンナー、ラッカーなど) で使用しないでください。**火災、爆発**の原因となることがあります。

■ 粉塵の多いところでは使用しないでください。**火災**の原因となることがあります。

■ 暖房機器、火気などの上や近接したところでは使用しないでください。**火災**の原因となることがあります。

■ LEDランプを被照射面に近接した位置に取付けないでください。被照射面の変色や変質、**火災**の原因となることがあります。

■ LEDランプに塗料などを塗らないでください。**故障、破損、感電、火災**の原因となることがあります。

■ ソケットは確実に取り付けてください。LEDランプ落下、接触不良による**過熱、発煙**の原因となることがあります。

■ 口金のピンが曲がったり、折れたりしたLEDランプは使用しないでください。また、ピンの切断もしないでください。接触不良による**過熱、発煙、落下**の原因となることがあります。

■ 誤って落下させたLEDランプは使用しないでください。**故障、火災**の原因となることがあります。

■ LEDランプの取り付け、取り外しは、ランプの両端の口金付近を持っておこなってください。また、取り付け時は、口金の黒線がソケット羽部に納まる位置まで確実にランプを差し込んでください。**故障、落下によるケガ、火災**の原因となることがあります。

■ 電線、あるいは絶縁処理部に刃物などによるキズをつけないでください。キズがついた状態で使用すると、絶縁破壊により**漏電、感電、火災**の原因となります。

■ 電線の接続点や直流電源装置の口出線には張力を加えないでください。**不点灯、漏電、感電、火災**の原因となることがあります。

■ 口出線を持って直流電源装置を運搬しないでください。接続部での断線、絶縁破壊、接触不良による発熱により、**不点灯、漏電、感電、火災**の原因となることがあります。

■ 風呂場など湿気や水気のあるところでは使用しないでください。**故障、感電、火災**の原因になることがあります。

■ 振動や衝撃のあるところでは使用しないでください。**故障、落下によるケガ、火災**の原因となることがあります。

■ 電線を接続する場合、ゆるみ、抜けないように確実に接続してください。接続が不完全ですと、**漏電、地絡、感電、接続部の焼損、火災**の原因となります。

■ 傷んだり変形した電源コード、接続コードは使用しないでください。**感電、火災**の原因となります。

■ コードの上に重いものを乗せたり、踏んだりしないでください。コードにキズがつかますと**故障、漏電、感電、火災**の原因となることがあります。

■ コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。**断線、火災**の原因となることがあります。

■ 取付工事の際、塗料や接着剤も液状成分、金属粉等がラインコンセント内部に入らないよう注意してください。**故障、漏電、感電、火災**の原因となることがあります。

■ レイアウトによる配置変え時は、コードを挟んでいないか確認してください。**感電、火災**の原因となります。

■ 不点灯、異常発光が見受けられた際は直ちに使用を中止してください。**火災**の原因となることがあります。

■ 電源は使用容量に合わせて選定してください。不適切な容量で使用すると**火災**の原因となることがあります。

■ アース工事が必要な場合は専門業者にご依頼頂き確実に行ってください。アース無し、不完全アースの場合、**故障、感電**の原因となります。

■ 定格容量は必ず守ってください。容量オーバーで使用すると過負荷となり**故障、漏電、感電、火災**の原因となることがあります。

■ ルーベールが取り扱う電源やコードなど PSE の電気用品の対象となる製品は、設置、施行の仕方次第で再度お客様にて PSE 対象の電気用品として、各種手続きや法令で定められた検査などが必要となる場合がありますのでご注意ください。

■ 免責事項  
保証期間内であっても、次の場合は有償修理になります。ご了承ください。

1. カタログ・取扱説明書・施工説明書・ホームページに記載された用途及び方法以外の施工あるいは使用に起因する不具合
2. 使用上及び施工上の不備または不当な改造、不適切な維持管理による不具合
3. 天災その他自然現象・周辺環境または製造時に実用化されていた技術では予測することが不可能な事象に起因する不具合
4. 経時変化による通常一般的な変褪色、汚れ、サビ、カビ、劣化摩耗などの不具合
5. 犬・猫・鳥・鼠などの動物の害に起因する不具合や虫害に起因する不具合
6. 仕上面の傷、凹みなどの不具合など検取時に発見できる不具合
7. 日本国内以外での使用による不具合
8. 下地材が関係する性能 (防火性能、堅強度など) に関する不具合